

第29回 土岐市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：平成30年5月29日（火）10：00～11：15

場所：セラトピア土岐・2階小ホール

（参加者）

※敬称略

委員	磯部 友彦	加藤 淳司	澤田 眞司
	山田 芳喜	成瀬 洋一	勝 雅義
	小倉 保二	塚本 俊一	稲葉 恵弥子
	水野 智恵	中島 美子	松浦 隆秋
	水野 真紀	河合 良隆	森 隆行（代理）
	川上 雅司（代理）	島部 典尚（代理）	宇野 貴博
	楓 博元	各務 和彦	下原 孝一
	酒井 幸昌	可知 路博	
事務局	松原 裕一	鈴木 聡	佐橋 直樹

※三輪 やよい、佐分利 和代、鷺見 直人 欠席

■委嘱書授与

- ・塚本自治会長へ代表して交付。

■協議事項

（1）平成29年度決算の認定について

（事務局）

- ・協議事項の前に「土岐市の公共交通について」事務局より説明。

（事務局）

- ・資料1について説明

歳入については、土岐市からの負担金と受取利息で、合計3,005,316円。

歳出については、協議会4回開催分の委員報酬と費用弁償、事務局の旅費、バス乗車体験に係る運賃。また、事業費として、網形成計画に掲げる事業を推進する為のコンサルへの委託料として、合計3,005,316円。

〈意見・質問〉

- ・意見1

※協議事項の前に「土岐市の公共交通について」事務局より説明を行ったが、そちらに関しての意見あり

（委員）

利用者数について減少傾向にあるとの説明があったが、利用者数の推移を見ると、増加をしている年度もある。実施した事業の効果として検証されたい。

(事務局)

短いスパンで見ると平成 28 年度以降、増加傾向とも見て取れるが、行った各事業との因果関係はわからない。ただ、平成 28 年度は土岐市地域公共交通網形成計画に基づく事業を開始した年度であり、こちらの効果として受け取ることもできるかもしれない。

- ・承認

(2) 平成 29 年度事業計画 (案) について

(事務局)

- ・資料 2 について説明

- ・基本方針 1

民間路線バスの利便性向上の為、土岐市駅での乗継不便性の解消を行うもの。平成 29 年度に乗継割引を実験的に行ったが、路線の延伸等を行うまでの結果は得られなかった。引き続き、乗継案内等による情報提供を行う。

- ・基本方針 2

地域交通の構築について。今年度は駄知町内にて自治会主体の交通検討会を進めていく。詳細については報告事項として、のちほどご説明する。

- ・基本方針 3

高校生の利便性向上の為、通学マップを作成し、学校での掲示や新高校 1 年生へ情報提供を行う。また、新たな取り組みとして、濃南中学校 3 年生を対象とした高校通学マップを作成する。夏休み前に配布予定。

- ・基本方針 4

利用促進の為に、地元のイベント等へ出席してバスの PR ブースなどを設ける。委員の皆様にもご協力いただきたい。

〈意見・質問〉

- ・意見 1

(委員)

基本方針 4 のイベントへの参加について、啓発物品などの協力ができる。参加が決まった際は早めに連絡いただきたい。

(事務局)

ぜひお願いしたい。

・承認

(3) 土岐市地域公共交通網形成計画推進業務委託について
(事務局)

・資料3について説明。

〈意見・質問〉

なし

・承認

(4) 駄知町の交通検討について(報告)
(事務局)

・資料4-1について説明。

〈意見・質問〉

・意見1

(委員)

自治会の方が主体となって検討いただけていることはとてもありがたいこと。安全・管理体制も意識した取り組みをお願いされたい。

・意見2

(委員)

10月～12月の試験運行で、特に11月、12月の利用者数が大きく減少しているが、この理由は何か。

(事務局)

全体的に利用者が想定を大きく下回った一つの大きな要因としては、駄知町の試験運行バスに合わせて休止する予定だった土岐口のサンマートへの無料バスが、直前になって休止を取りやめた影響が大きい。また、10月については協力的な意味、いわゆる“お付き合い”で3,000円の定期券を購入してくれた方も少なくなかったと思うが、実際にそれほど利用の必要がなかったようで、11月以降の継続した購入はほとんどなかった。

・資料4-2「岐阜市のコミュニティバスについて」

(中部運輸支局河合氏より説明)

・意見

(委員)

コミュニティバスの路線を考える際は、既存の民間路線と干渉しないよう考慮されたい。

(議長)

公共交通に正解の形はない。地域ごとの特性に合った検討が必要だ。駄知町においても、さまざまな全国の事例を研究しながら、それらの良いところを取り入れ、検討を進めていただきたい。

以上